品質保証検討グループ 2008年度第1回会合議事録(案)

日 時 : 2009年3月12日 (木) 13:30~17:30 場 所 : 日本原子力研究開発機構 上野事務所 7階会議室

出席者:中島(京大炉)、上松(東芝)、奥村、石川、柴田、岩本(JAEA)、山野(東工大)

以上7名〈敬称略·順不同〉

配布資料:

0. 前回会合議事録(案)

1.JENDL の品質保証のあり方(提言)(案)(山野委員)

2.2007,2008 年度活動報告および2009 年度計画(案)(山野委員)

議 事 :

- 1. 前回会合議事録(案)の確認がなされた。
- 2. 山野委員より資料1に基づき、JENDLの品質保証のあり方(提言)(案)について説明があり、 内容について検討・議論が行われた。
 - ・ISO9001:2008 に準じた文書化の規定や記載内容を明記した JENDL の品質保証のあり方を提言としてまとめ、核データ評価研究グループに提言を行う。
 - ・目標、対象組織、適用範囲、品質マネジメントシステム(QMS)の構築と運用を提言する。
 - ・品質マニュアルに記載すべき内容として、品質方針、品質目標、適用範囲、プロセスおよびプロセス・プロセス間の相互関係、QMSのPDCAサイクルにおける内部監査、不適合対応、継続的改善を含めた提言を行う。記録および記録管理の手順についても提言をまとめる。
 - ・品質保証における信頼性の向上には、説明責任を果たすことであり、そのための透明性の確保 が重要であるが、内部監査については、研究のパフォーマンスが低下しないよう効率的かつ確 実な監査方法を考慮する必要がある。
- 3. 内部監査や継続的改善など、組織体制について JENDL-4 では時間的制約等のため実現できないものもある。本提言は JENDL-4 を直接的なターゲットとしたものではなく、今後の JENDL の品質保証全般に関する提言である。組織体制等の充実については、本提言を受けて JAEA 内部で検討し可能なものから順次実現すべきものである。JENDL-4 ではできるところから着手する。現状で難しいところは、次の中期計画で考慮することも視野に入れてはどうかとの結論となり、提言の冒頭に趣旨を記載することとした。
- 4. シグマ本委員会に報告する 2007, 2008 年度活動報告および 2009 年度計画(案)が検討され、本検討グループは本年度末をもって解散することが承認された。

以上